

議事2 平成23年度調査計画（仙谷地区西側丘陵の調査）

1 目的

墳丘墓がまとまって分布する可能性の高い1号墓周辺、平坦面や段状地形が認められ、墳丘墓及び土壙墓（木棺墓）の分布する可能性のある北西尾根の発掘調査を行ない、仙谷地区西側丘陵における墓域の広がり及び内容を明らかにする。

【課題】

- (1) 1号墓周辺の墳丘墓の広がり及び1号墓を含めた墳丘墓の内容確認
- (2) 北西側尾根の平坦面及び段状地形の内容確認

2 調査方針

(1) 1号墓周辺の墳丘墓の広がり及び1号墓を含めた墳丘墓の内容確認

- ・ 主に南側の調査が行われ、北側の状況が明らかではない1号墓の北東隅のトレンチ調査及び既存の調査箇所の新発掘を行い、1号墓の形状、規模を確認する。
- ・ 1号墓西、南側のトレンチ調査を実施し、1号墓周辺の墳丘墓の広がりを確認する。墳丘墓が確認された場合は、必要に応じて面的に調査を行い、形状、規模を明らかにする。
- ・ 1号墓東側の墳丘上の高まりの内容を把握するため、トレンチ調査により範囲の確認を行う。その後、必要に応じて面的に調査を行い、形状、規模を確認する。

(2) 北西側尾根の平坦面及び段状地形の内容確認

- ・ トレンチ調査により、平坦面や段状地形が分布する地区に墳丘墓及び土壙墓の有無を確認する。確認された場合、必要に応じて面的に調査を行い、墳丘墓の形状、規模、土壙墓の広がりを確認する。